

様

研究への協力をお願い

私は、現在、聖路加看護大学大学院博士後期課程に在籍している吉野純子と申します。このたび、「定年退職した男性が地域とのつながりを構築していく理論の生成」という研究を実施するにあたり、研究協力者の紹介へのご協力をお願い申し上げます。

【研究の目的と意義】

定年退職した男性にとって退職後の“生活”や“地域活動”とはどのようなものか、地域と自分とのつながりをどのように捉えているか、を明らかにすることを目的としています。このことは、定年退職した男性が退職後地域において新しいつながりを築いていく時に役立てることができます。また、地域の中で社会的に孤立しやすい高齢期の男性に対して、地域保健の立場からも、定年退職した男性が地域の中でつながりを作り、安心して満足な生活を送るための支援策の充実に役立てることが期待できます。

【お願いしたいこと】

企業あるいは公務員等を定年退職した男性にインタビューをさせて頂きたいと考えております。インタビューを受けて頂ける可能性のある方をご紹介させて頂きたくお願い申し上げます。

ご紹介して頂ける方がいらっしゃいましたら、研究者が直接その方に「研究への協力をお願い」用紙を渡して研究の主旨と内容を説明させて頂きたいと考えております。そのため、ご多用の折大変恐縮ですが、ご協力頂ける方の氏名と連絡先を教えてくださいたくお願い申し上げます。

- ◆選定基準：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県に居住しており、家庭以外の場で何らかの他者との交流を伴う活動（自治会、地域ボランティア、自己啓発のための学習、趣味等）を行っている、地域活動への思いや体験を語る事ができる定年退職後の男性（60歳～70歳）3～4名。
- ◆インタビュー方法：インタビューは原則1回で60分以内です。インタビューは本人の許可を得て、メモを取らせて頂くとともに、ICレコーダーに録音させて頂きたいと考えております。
- ◆インタビュー内容：退職前後で地域での生活や地域との関わり方に変化があったか、地域活動をはじめたきっかけや活動に対する思いや体験、自分にとっての地域とのつながりとはどのようなものか、についてお話をうかがわせて頂きたいと考えています。

【倫理的配慮】

- ・インタビューの前に、文書を用いて研究協力者に研究の主旨や研究協力者の権利、匿名性の保証を説明し、承諾を得られたら同意書に署名して頂き、その後インタビューを開始致します。
- ・インタビューは本人の自由意思に基づいて、研究への参加と辞退の決定、および中途での辞退の表明ができるように体制を整えます。
- ・インタビュー内容から、個人名および企業名が特定されないように十分配慮致します。

【研究期間】

2014年2月から2014年6月までの予定です。

以上をお読みの上、研究に協力して頂ける場合は、下記までお返事を頂けますようお願い致します。

平成26年 月

研究者：吉野 純子（よしの じゅんこ）

所属機関：聖路加看護大学大学院博士後期課程 地域看護学領域
東京都中央区明石町10-1 聖路加看護大学

研究用連絡先：〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇.〇〇.〇〇

指導教員：麻原きよみ（聖路加看護大学 地域看護学教授）

様

研究への協力のお願い

私は、現在、聖路加看護大学大学院博士後期課程に在籍している吉野純子と申します。このたび、「定年退職した男性が地域とのつながりを構築していく理論の生成」という研究を実施するにあたり、研究へのご協力をお願い申し上げます。

【研究の目的と意義】

定年退職した男性にとって退職後の“生活”や“地域活動”とはどのようなものか、地域と自分とのつながりをどのように捉えているか、を明らかにすることを目的としています。このことは、定年退職した男性が退職後地域において新しいつながりを築いていく時に役立てることができます。また、地域の中で社会的に孤立しやすい高齢期の男性に対して、地域保健の立場からも、定年退職した男性が地域の中でつながりを作り、安心して満足な生活を送るための支援策の充実に役立てることが期待できます。

【お願いしたいこと】

退職後、地域で生活を送るうえで戸惑ったことや感じたことがあったか、退職前後で地域での生活や地域との関わり方に変化があったか、地域と自分とのつながりをどのように捉えているか、地域活動をはじめたきっかけや活動に対する思いや経験などについてお話をうかがわせて頂きたいと考えています。

インタビューは原則1回で60分以内と致します。ただ、研究を進める過程で、確認したい内容が生じた場合、再度インタビューをお願いすることもあります。インタビュー内容に関しては、許可を頂いてメモを取らせて頂くとともに、ICレコーダーに録音させて頂きたいと考えております。

【インタビューの際には、以下のことをお約束致します】

- ・インタビュー内容は、研究以外の目的で使用することはありません。
- ・研究への協力は、ご本人の自由意思に基づくものであり、研究への参加を辞退して頂いても構いません。また、研究協力で同意しインタビューを開始した後でも、いつでも中断・中止することができます。その際、協力者の方が何ら不利益になることはありません。
- ・インタビュー内容から、個人名が特定されないように十分配慮致します。
- ・インタビューの録音は許可を頂いてから行います。録音内容はデジタル化した後、速やかに消去します。デジタル化したデータは、鍵のかかる場所で厳重に管理し、学会誌等に公表後3年間保管した後に破棄致します。
- ・本研究のインタビューに参加されなくても、_____様に一切の不利益はありません。_____様に直接の利益はございませんが、ご協力頂くことによって、今後定年退職期ある男性に対する地域あるいは職場における支援プログラムをより充実したものにしていくための貴重な資料となります。
- ・研究結果は、学会あるいは研究論文として発表する予定であります。公表に際しては、企業名および個人名が特定されないように致します。
- ・インタビューにご協力頂いた方には、些少ではありますが謝礼をさせていただきます。

以上をお読みの上、研究に協力して頂ける場合は、下記までお返事を頂けますようお願い致します。

平成26年 月

研究者：吉野 純子（よしの じゅんこ）

所属機関：聖路加看護大学大学院博士後期課程 地域看護学領域
東京都中央区明石町10-1 聖路加看護大学

研究用連絡先：〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇.〇〇.〇〇

指導教員：麻原きよみ（聖路加看護大学 地域看護学教授）

聖路加看護大学

学長 井部俊子 殿

研究への協力の同意書

私は「定年退職した男性が地域とのつながりを構築していく理論の生成」について説明文書を用いて説明を受け、内容を理解し、この研究のインタビューに協力することに同意します。

平成 26 年 月 日

研究対象者氏名（署名）： _____

説明者（署名）： _____

聖路加看護大学 研究倫理審査委員会承認番号：

聖路加看護大学

学長 井部俊子 殿

研究協力の断わり書

私は「定年退職した男性が地域とのつながりを構築していく理論の生成」について、協力することに同意しましたが、このたびインタビューの協力を中止することにしましたので、通知します。

平成 26 年 月 日

研究対象者氏名（署名）： _____